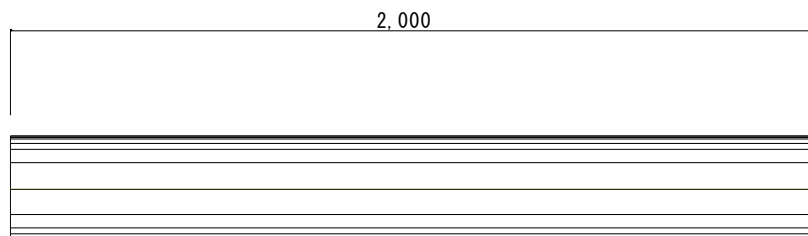
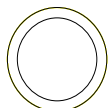
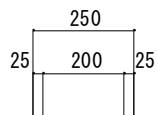


GWダクト

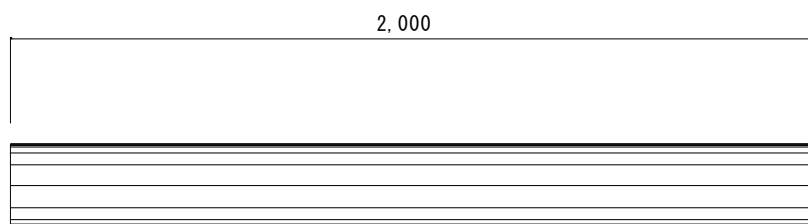
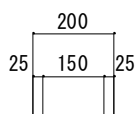
製品仕様

グラスウール丸ダクト・直管

φ 200

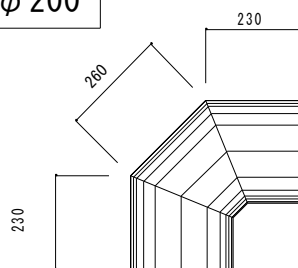


φ 150

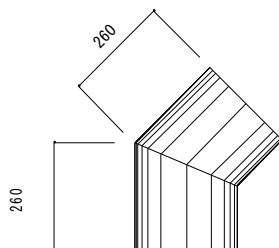


グラスウール丸ダクト・役物

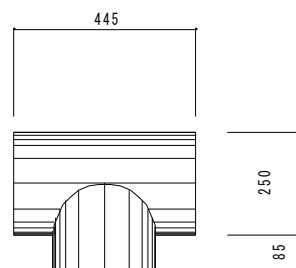
φ 200



90° エルボ

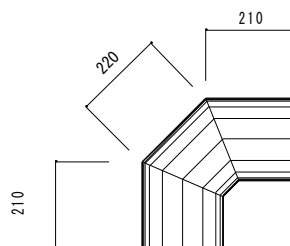


45° エルボ

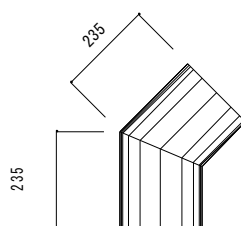


TEE

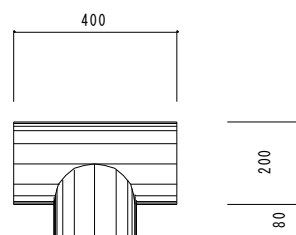
φ 150



90° エルボ



45° エルボ



TEE

集熱空気のダクト配管は、断熱性と施工性に優れたグラスウール製ダクトの使用をお勧めします。

本ダクトの表面はアルミシートで覆われていますが 耐候性は低いので外部で使用する場合は、必ずラッキングカバー等で保護して下さい。

また屋外配管は、外気の影響を大きく受けますので、屋外露出部分を極力少なくして、必要に応じて保温対策を行って下さい。

施 工

1、切断

グラスウールダクトは、
カッターナイフ等で簡単に
切断できます。
グラスウールカッターを使うと
正確に綺麗に加工出来ます。



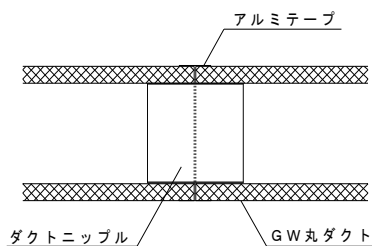
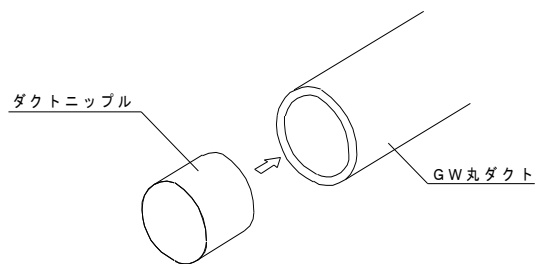
2、接合

グラスウールダクトの接合はアルミテープでつなぎ、ヘラでしっかり伸ばして馴染ませて下さい。



(注) アルミテープ表面をヘラ等でしっかり伸ばしておかないと、時間経過後にダクトが破断する恐れがあります。

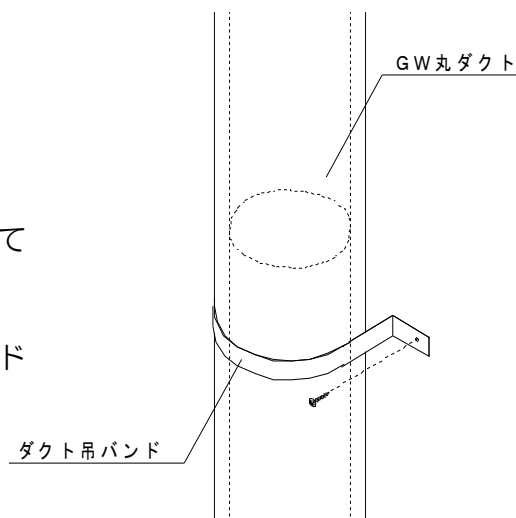
グラスウールダクトを水平方向に配管する場合、アルミテープによる固定だけですと、ダクト接合部に加わる剪断力に耐えられず破断する恐れがあります。そのような部分にはダクトニップルを挿入して接合部を補強して下さい。



3、固定

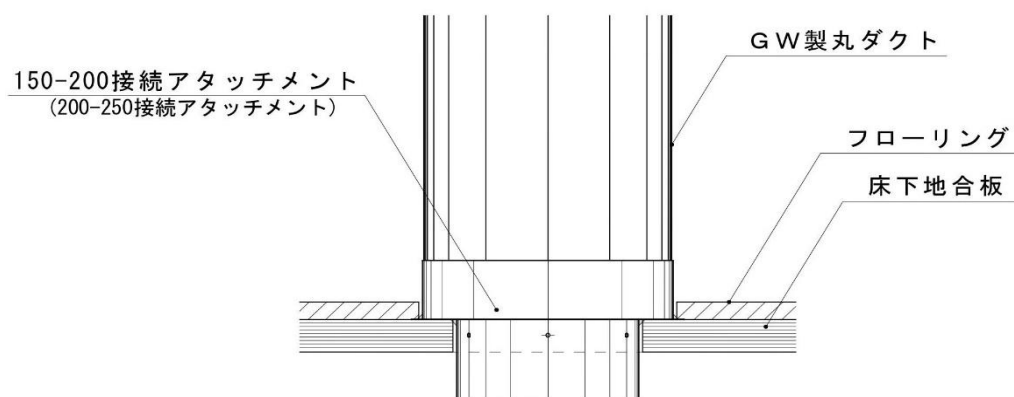
ダクトの配管においては、必要に応じて躯体に固定して下さい。

ダクトの固定には市販のメタル吊バンド等を使用して下さい。



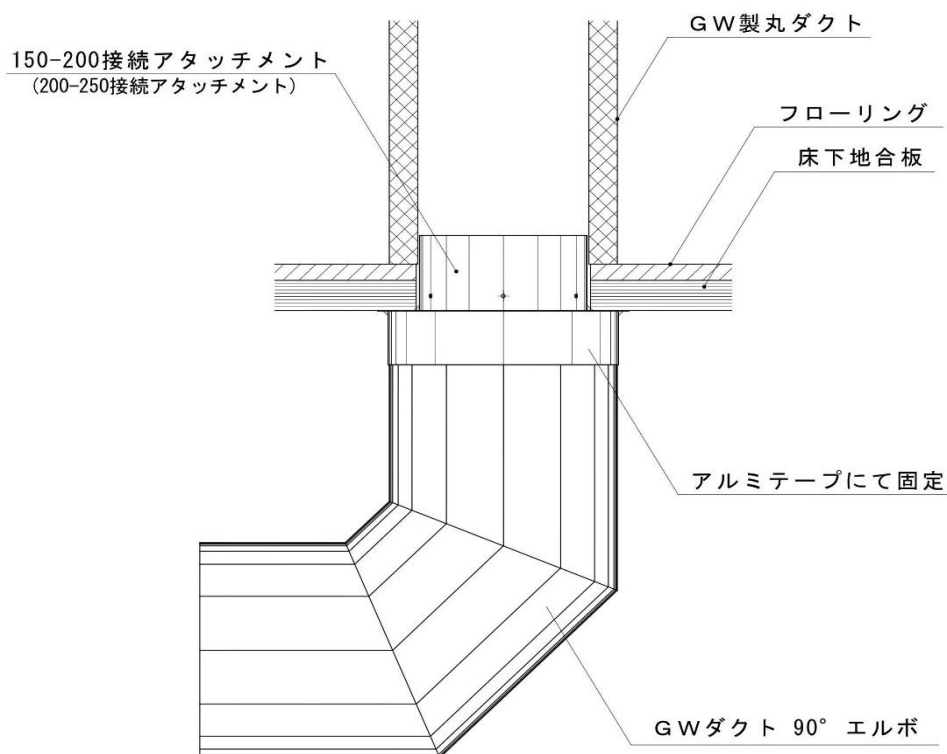
床への固定

立下りダクトを床に固定する際は、150-200(200-250)接続アタッチメントという異径ソケットを使用します。



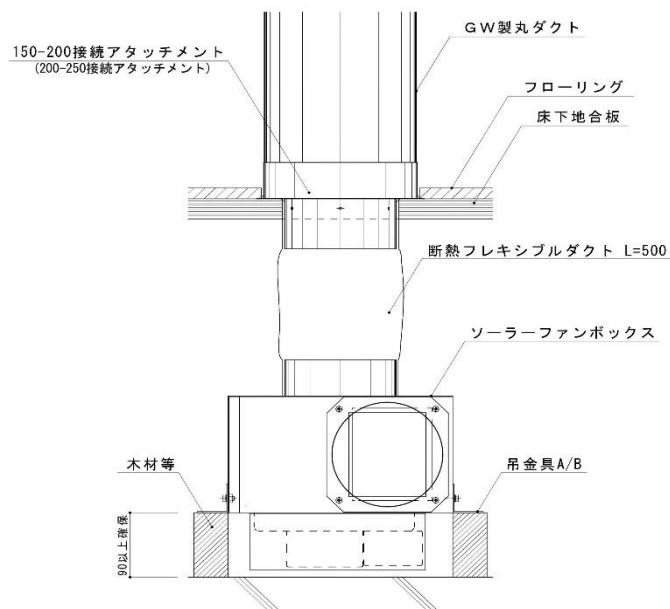
床下での延長配管

床下でダクトを延長配管する場合にも150-200(200-250)接続アタッチメントを使用します。



ファンボックスの床下設置例

ソーラーファンボックスを床下に設置して、これにダクト接続する際は、150-200(200-250)接続アタッチメントで立下りダクトを固定した上でファンボックスとの間を断熱フレキシブルダクトでつなぎます。



4、仕上

グラスウールダクト表面の化粧方法について参考例を紹介します。

① ラッキングカバーの利用

市販のラッキングカバー（カラーGL鋼板製）によりダクトを包みます。

GWダクトφ200用：No.24(周長：795mm 働き長：900mm)

GWダクトφ150用：No.19S(周長：635mm 働き長：900mm)

スパイラルダクトφ150用：No.13(周長：510mm 働き長：900mm)



ラッキングカバー施工例



【施工手順】

ラッキングカバーは立下りダクトの下部から取付けて行きます。

竹の節のような形状になっている側がラッキングカバー下側になります。

ラッキングカバーを開いてダクトを覆い、端部を嵌合させます。

ラッキングカバー上側は左上写真のように切込みがあるので、これが見えなくなるくらいの位置に

2段目のカバーを被せて固定します。

若干緩めで下がりそうな場合は、重なり部分にコーキング等を塗布して下さい。

天井まで到達したら、その位置で切断するか、ダクト貫通穴に差し込んで周囲をコーキング処理して下さい。



ラッキングカバー上側



ラッキングカバー下側

下記のカラーサンプルからお好みの色番号をご指定下さい。

カラーサンプル



※カラー見本はご覧の環境によって、見え方が異なる場合がありますので、参考までにご覧下さい。

90° エルボ用ラッキングカバー

GWダクト90° エルボに合わせたラッキングカバーを用意しています。

90° エルボ Φ200用：No.800

90° エルボ Φ150用：No.640

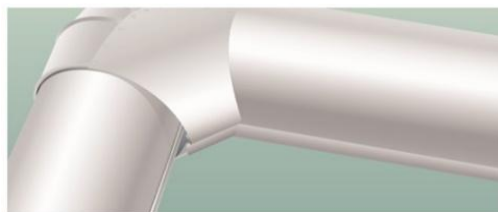
【施工方法】



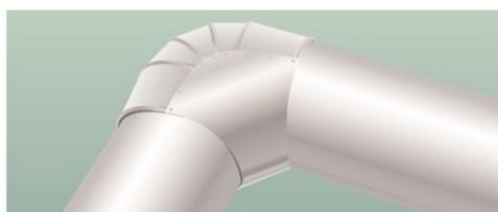
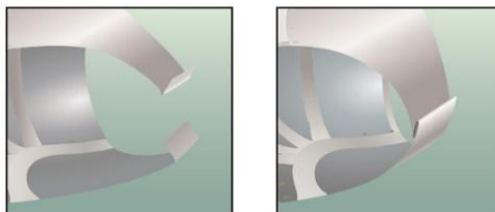
① コーナ部に合わせベロにあら折りする。



② 片側折り返し部のかみ合わせ巾を見て切り捨て
反対側を倍の巾で切り捨てる。



③ 上側を延ばし、内側に折り、下側は外側に折り装着する。



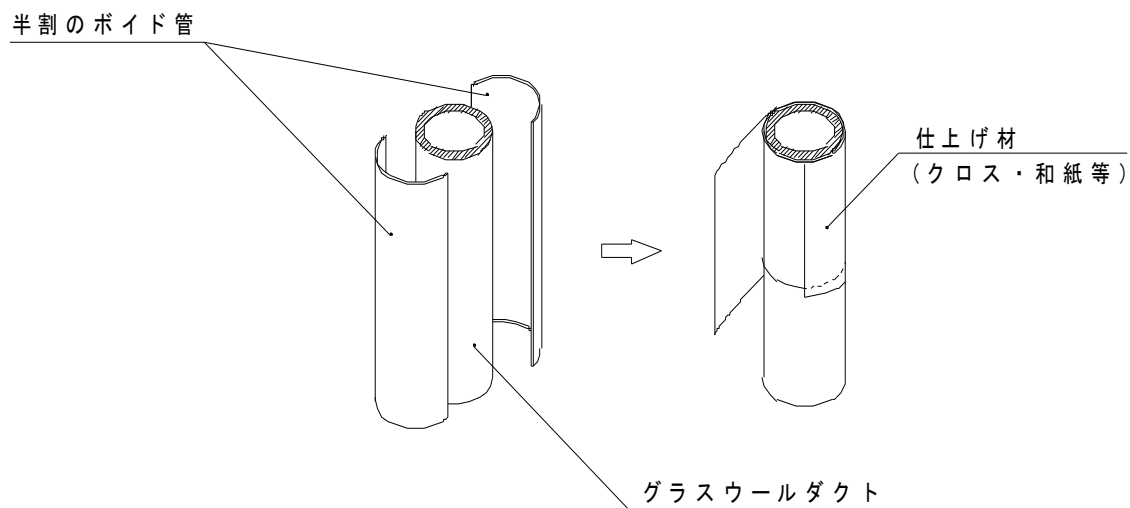
完成図



② 紙製ボイド管の利用

グラスウールダクト表面に直接仕上げをする事はできません。

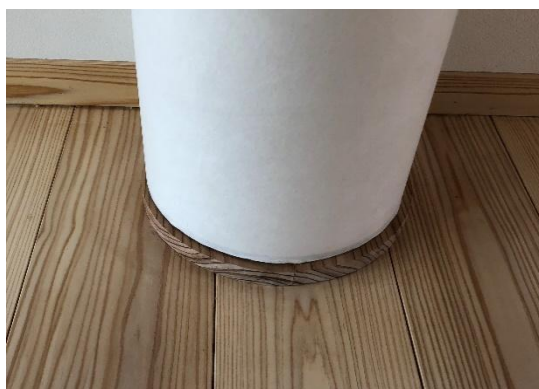
紙製ボイド管を半割にしてダクトを覆い、接合部をパテ処理して下地を整えてからクロスや和紙等で仕上げます。



グラスウールダクトは屋外で日光や風雨に晒すように使用することは出来ません。



和紙張り仕上のダクト



床とダクトの取り合い

断熱フレキシブルダクト

製品仕様

断熱フレキシブルダクトは、機器の配置条件からグラスウールダクトでは配管がしにくい場合などに使用します。

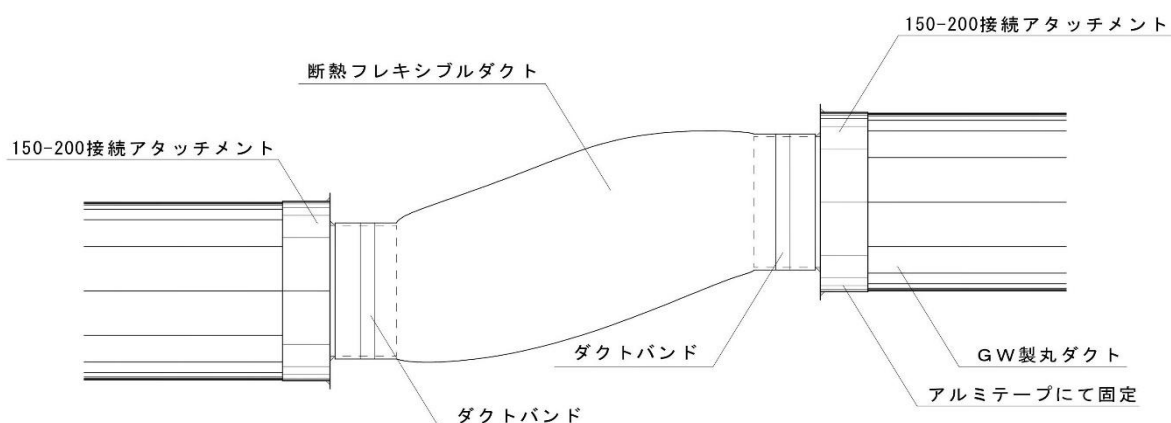


不燃認定番号	NM-0601号
材質：	グラスウールダクト24k-25t ポリプロピレンチューブ ポリエステル系不織布 亜鉛メッキ鋼線
耐静圧範囲：	-200Pa～500Pa
内部流体温度	-28℃～80℃
最大風速：	15m/s
口径：	φ150、φ200
長さ：	500L、1000L、2000L

施 工

断熱フレキシブルダクトは、次図のようなダクト同士の芯ズレ処理等に適しています。

断熱フレキシブルダクトとGWダクトを連結する場合は、GWダクトに150-200(200-250)接続アタッチメントを取付け、これに断熱フレキシブルダクトを被せてダクトバンドで固定します。



断熱フレキシブルダクトを使用する際は、流路が塞がってしまうような無理なダクティングを避けて下さい。

断熱フレキシブルダクトは、切断して長さを調節することは出来ません。

断熱フレキシブルダクトは、専用のダクトバンドを使用してダクトカラー、ダクトニップルに固定して下さい。

断熱フレキシブルダクトは、屋外にて日光や風雨に晒すように使用する事は出来ません。

合同会社サンシャイン・ラボ

〒430-0947 静岡県浜松市中央区松城町200-9 臼井ビル2階

TEL:053-401-4008

FAX:053-401-4009